

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 9月号 (NO65)

2015年9月10日 (木) 発行 (毎月10日)

【農暦】大雨の過ぎるのを待つだけ！

○8日は白露である。日照り、暑さが嘘だったような長袖が朝夕には欲しくなる陽気が続く。白露とは、大気が冷えてきて露を結ぶ頃のことを云う。暑さは収まったが、台風と秋雨前線の影響で各所で豪雨である。6日、7日には、千葉の蘇我、鎌ヶ谷などで竜巻を想わせる突風で建屋が大破する被害が出ている。大雨による洪水のニュースもある。今日9日は台風18号の猛烈な雨で冠水などの被害のニュースが流されている。18号が日本海で低気圧になっても前線と17号の影響による湿気を含んだ風の吹き込み、今夜から関東甲信越に非常に激しい雨の予報である。大雨洪水警報や土砂災害警戒、避難勧告などが各所で出されている。テレビで止切りなしに報じている。今後の推移が心配される。

○草に敗北した畑の除草を少しずつ続けて来たが、お盆過ぎには、秋冬野菜の播種の時期となる。今年は半分諦めようと思っていた。兼ねてから心配してくれている東京の農仲間から大根と白菜の播種の援農に行くと言った。除草しスペース確保し、耕起し、マルチ掛けして、大根と白菜の播種をした。1人仕事ではなかなか進まないが驚くほど速い。畑の姿が変わっている。その後、暑さが和らいだこともあり、農作業モードにギヤーが入り、精力的？とは言えないが除草を続けて来た。その頃から雨模様の天気つづきである。

○“先日は援農有難う御座いました。秋冬野菜も半分諦めかけていましたが、お陰様で白菜、大根の播種が出来ました。帰えられた後、入り口からハウスまで、草払い機で再除草、草の処理、生姜の畝の除草などを行い柏に戻っています。草払い機は刃の取り換えで、威力を増しましたので、草地から畑地に戻したく思っています。暑さが落ち着いて来ましたので、、、酒談は良いですね少し遅くなり過ぎましたが、たまにはやりましょう。最近、飲む機会が多くなっていますが、友遠方より、、、の美酒は良いですね。”と、その後の報告を含めお礼のメールを送った。

○この直後から雨が続き、更に大雨洪水(注1)予報である。いつもながらではあるが、やろうすると雨である。中途半端故の徒労としか思えない農作業をしている。試練、人生、



<黒豆・小豆・金時>優先して除草の結果が辛うじてこの状況。28日撮影

健康？などの文字が浮かぶ。畑が自分の合わせ鏡に見えてくる。大根と白菜の生育を心配しながら大雨の過ぎるのを待つだけである。

注1；10日は栃木・茨城で、鬼怒川ほかが氾濫し被災者救助のニュースが終日続く、夜になっても救出を待つ人が多勢残っている。海水温が上る（近海で1, 1℃）と台風のエネルギーは巨大化すると云う。今のタイミングの話ではないが、温暖化対策が深刻に問われている。

【楽農】徒労でも良いと、除草を繰り返す！

＜畑A＞；白菜・大根の播種。枝豆、モロヘイヤ、トマト、茄子など少量収穫。全般除草。

＜ハウス＞；周辺除草。

＜畑B＞；黒豆、小豆、金時の除草

トラクターで（除草）耕起

*除草を繰り返し、畑の姿に、ネギ、トマト、生姜、菊など復活を期待しているが、ダメージが大きい。徒労でも良いと思っている。

【楽市】イベント交流・直売など

○その他；

マザー牧場（15日）魅力発信隊例会（2日）、共生の会（3日）、富岡製糸場、下仁田歴史民俗資料館（下仁田戦争）、こんにやくパークへ交歓吟詠会（5日）参加など。



＜富岡製糸場の繭倉庫＞フランスから技術導入し絹産業のスタート拠点になった。交歓吟詠会で。5日日撮影

【つぶやき=Tweet】 経世済民とは！

○秋の七草（*2）に萩があるのは良寛と貞心尼の歌などで知っていたが、葛が七草とは思っても見なかった。隣の空き地からの葛の脅威に晒されている。少しオーバー表現したくなるほど大変な存在である。プラム、りんご、柿、が覆われ畑に蔓が侵入して来ている。柿は枝が折れる、実は落ちる。キューイも可なり厳しい状態にある。このままだと枯れてしまう。昔人は秋の七草として愛でたのだらうと思うが、そんな気持ちにはなれない。葛も萩も凄く繁茂力である。草払い機で、鎌で、なぎ倒している。野の花を愛でたいと思う気持ちが失せてしまいそうである。何か寂しい気分になる。除草に疲れてしまったのかも知れない。

○先号で“世のため人のための企業文化の復活を信じたい。”と書いたが、7日の読売新聞の編集手帳には、エジソンは＜利益よりも、私は人類のために新しい富、新しい道具、新しい産業を創造しようとして働いている＞とSF作家、星新一さんの父親で実業家の一氏らに熱く語ったと云う。東芝の創業者の一人である藤岡市助もエジソンに手紙を書き、白

熱電球と電話機を日本に送るよう依頼し、電球製造の道が開かれたと、不適切会計に揺れる東芝の改革に向けて<略>エジソンの言葉が参考になるだろう。と結んでいた。製薬会社を起こした星新一さんの父親の足跡を描いた「人民は弱し官吏は強し」（新潮文庫）には<成功しない人があるとすれば、それは努力と思考をおこたるからである。>とエジソンが書いて写真にサインして帰り際に渡されたことがこの本に載っているという。多くの事で「思考」が足りないと思う。また「人民は弱し官吏は強し」の文言も気になった。

○“経世済民の男”がテレビで放映されている。高橋是清と小林一三と続いている。小林一三については知らなかったが、阪急電鉄、宝塚歌劇団を創り経営した人で、家賃並みで買える住宅ローンの仕組みを100年前に作ったと云う。この仕組みは今でも使われている。経世済民とは“世の中をよく治めて人々を苦しみから救うこと。また、そうした政治をいう。「経」は治める、統治する。「済民」は人民の難儀を救済すること。「済」は救う、援助する意。”である。自民党の派閥に「経世会」があった。省略しただけと思うが「済民」がない。今の主流は清和会である。安保法案を推進している親米派である。アベノミクスは弱者にとっては負担増になる事ばかりである。税制も弱者に優しくない。格差社会が進展し定着して来ている。

○「経世会」の元首相の孫のタレントがいるが、2-3世のタレントには好感が持てても、政治家には、共感を持てる人は少ない。特権階級に見えてくる。弱者の味方の政党も政治家が少ない。一般国民の心情と国政レベルは真逆にみえる。政治家も企業家もだがエジソンの言葉を借りれば、経世済民のための“努力と思考”をおこたらないで欲しい。

○凶悪事件、詐欺、毎年3万人の自殺者、老人漂流、それに現役警察官の事件（殺人・輪姦）のニュースが続く。周りを見れば、独居老人、離婚、生涯未婚などと、普通な？家庭が無い。それに自然災害である。これからどうなるのだろうと不安になる。“エジソンの言葉”や“経世済民の男”を見たり聞いたりすると、今の社会のリーダー達はと、過激な言葉も使いたくなってしまう。政治に信頼が持てない。怪しくしか見えない。またも重い話しに、。

*** 2 ; 秋の七草は、撫子（なでしこ）、女郎花（おみなえし）、桔梗（ききょう）、藤袴（ふじばかま）、尾花（おばな=すずき）、萩（はぎ）、葛（くず）。**

【後記】この土染たよりが、老人のたわごとにも、良く云えば、雄叫び。やはり愚痴か。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】



<すずめ蜂の駆除>軒下の大きな巣。市が防護服を貸すと云うが養蜂家のプロに依頼。18日撮影

発行者 ; K o g u r e 農場・小暮虎雄

住所 ; 笠間市本戸 4 2 0 1 - 1 0

携帯電話 ; 0 9 0 - 9 3 3 3 - 4 1 3 5

メール ; torao-k@nifty.com

HP ; <http://homepage3.nifty.com/toragigi/>